

座標空間内において、ベクトル

$$\vec{a} = (1, 2, 1), \vec{b} = (1, 1, -1), \vec{c} = (0, 0, 1)$$

が定める2直線

$$l: s\vec{a}, \quad l': t\vec{b} + \vec{c} \quad (s, t \text{ は実数})$$

を考える。

点 A_1 を原点 $(0, 0, 0)$ とし、点 A_1 から直線 l' に下ろした垂線を A_1B_1 とおく。次に $B_1(t_1\vec{b} + \vec{c})$ から直線 l に下ろした垂線を B_1A_2 とおく。同様に、点 $A_k(s_k\vec{a})$ から直線 l' に下ろした垂線を A_kB_k 、点 $B_k(t_k\vec{b} + \vec{c})$ から直線 l に下ろした垂線を B_kA_{k+1} とする手順を繰り返して、点 $A_n(s_n\vec{a})$ 、 $B_n(t_n\vec{b} + \vec{c})$ (n は正の整数) を定める。

- (1) s_n を用いて s_{n+1} を表せ。
- (2) 極限值 $S = \lim_{n \rightarrow \infty} s_n$ 、 $T = \lim_{n \rightarrow \infty} t_n$ を求めよ。
- (3) (2) で求めた S 、 T に対して、点 A 、 B をそれぞれ

$$A(S\vec{a}), \quad B(T\vec{b} + \vec{c})$$

とおくと、直線 AB は2直線 l 、 l' の両方と直交することを示せ。

< '22 東北大 >